

令和7年度保育園自己評価結果公表シート

社会福祉法人 ひまわり福祉会
ひまわり認定こども園

～保育理念～

教育・保育目標

子ども一人ひとりの人格を尊重し、心身ともに健康で感性豊かな子どもを育てる。

- ・心も身体もたくましい子
- ・人や自然の触れ合いのなかで豊かに育ち合う子
- ・自分で考え、表現しながら友だちとのつながりをもてる子

項目内容	取組状況
保育指針、保育目標は全職員で共通理解を図っている。	園の教育・保育目標を軸として、全職員が一緒になって保育に取り組むことが出来た。
保育指針、保育目標が活かされるような保育内容を考えている。	全体計画を基に、各年齢別に指導計画をたてて保育を行った。
子どもの思いを大切に認め、サインを見逃さず対応している。	言葉で表現できることも、表現するのが苦手な子どもにそれぞれ対応していった。未満見に対しては、保育教諭が代弁することもあり、共感することに努めた。
子どもの意欲を高められるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持って保育を進めている。	日々子どもたちの興味あるものを模索して、新しい遊びを保育に取り入れるように心がけた。
日々の生活の中で、その子の良いところを見つけ肯定感が持てるような言葉かけをしている。	普段の生活の中で、出来たことや良いところを見つけ、満足感をもてるような言葉かけをした。
行事を通して、自分で工夫したり友だちと協力して作り上げることの大切さや喜び達成感を味わう。	以上児は、友だちと協力して工夫されたものを作り上げることが出来、友だちと一緒に同じ達成感を味わうことが出来た。
施設内外・整備の安全に常に心がけ、気づいたら報告し整備する。	毎週土曜日に担当が一つ一つチェックを行い、その都度危険な箇所の確認を行っている。修理が必要な箇所は、業者に依頼した。
用具等を子どもが使いやすいように整理・保管している。	クラスによっては、コーナー遊びなどの環境を整えることが出来た。遊具は、子どもたちが見やすい容器・場所に保管した。
職員は定期的に研修を受け、保育についての話し合いを行いクラスでの意見統一が出来ている。	年に数回の研修、及び園内研修において、保育の資質をあげられるようにした。各々研修報告を行い、クラスのみならず職員間で共有することもできた。
職員間の連携をとり、子どもや保護者等小さなことでも報告・連絡・相談している。	クラスごと又は、クラス以外での連携がうまくとれず保護者への伝言や報告を怠ってしまうことがあった。
保護者の思いを理解するように努め、園での子どもの姿や発達状況などこまめに報告していく。	保育参観や面談等で保護者と話をすることが出来た。日々の様子については、タイミングを逃してしまうこともあり、コミュニケーション不足もあった。
防災・安全対策について	毎月の避難訓練、11月に地震を想定した訓練、12月には県の防犯アドバイザーを招いて不審者訓練を行った。防犯アドバイザーからの指摘やご意見など参考にすることが出来た。
小学校や地域との連携について	今年度から幼保小連携により校区の旭が丘小学校との交流を計画していたが、両者共インフルエンザの流行に伴い中止した。

今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
職員間の連携をとり、子どもや保護者等小さなことでも報告・連絡・相談をしていく。	各クラスそれぞれが複数担任の為、クラスの中でしっかりと情報共有をして、意思統一を心がけていく。また、園長・主任・副主任を中心として全職員がしっかりと連携をとれる体制を整えていく。
保護者の思いを理解するように努め、園での子どもの姿や発達状況などこまめに報告していくようにする。	保護者と話をして、信頼関係を築いていけるようにする。保護者と保育教諭が子どもの成長する過程を一緒に見守り、喜びを共有できるようにしていく。
子どもの意欲を高められるような遊びの準備や配慮ができ、環境を整える。	子どもたちの主体性を大切にして「やりたいこと」「興味があること」のタイミングを見逃さずに環境づくりを考慮していく。